



日本港湾経済学会 中部部会 ニュースレター

2013年9月
第7号

内容

- 1 会長あいさつ
- 2 報告
- 3 名古屋港の情報
- 4 事務局より

1. 会長あいさつ



日本港湾経済学会中部部会
会長 林 上

世界には数多くの港湾がありますが、そこに港が存在する理由はひとつとは限りません。しかし多くの港湾に共通しているのは、港湾の背後に控える地域を経済的に支えるため、という理由だと思います。背後で工業生産が活発に行われていれば、生産に必要な原料や資源が陸揚げされ、できた製品が港湾から送り出されていくでしょう。背後に大きな都市があれば、多くの消費財が港湾を通して持ち込まれます。なかにはとくに大きな背後地をもたず、各地の港湾から荷物を集めて別の仕向地に送り出す中継的機能を果たしている港湾もあります。

このように、港湾にはさまざまなタイプがありますが、このタイプや機能は時代とともに変化していきます。かつては、北の先進国の港湾が、南の発展途上国の港湾から送り出される原料や資源を輸入するという形態が主流を占めていました。しかし現代は、発展途上国から新興工業国へと変貌した国の港湾から工業製品が先進国の港湾へ出荷されるようになりました。新興工業国も、先進国と同様、原料や資源を輸入するようになり、資源争奪の勢いが増しています。

こうした国際貿易の変化は、南北間の垂直貿易から先進国と新興工業国との間の水平貿易への転換としてとらえることができます。先進国の港湾からは、完成品のほかに部品や中間製品が新興工業国へ輸出されるようになりました。工業生産が先進国の専売特許であったのは遠い昔の話。世界各地で工業生産が行われるようになり、資源や製品がグローバルスケールで移動する時代へと変わってきました。しかし時代がどのように変わっても、分業と技術革新は、資本主義経済が発展するための不可欠な条件です。国際的分業体制の拡大とともに貿易の範囲も広がり、創造的破壊から生み出される各種技術革新が生産や輸送の仕方を変えていきます。

日本経済がフルセット生産の加工貿易体制を維持できなくなってすでにかかなりの時間が経過しました。企業の海外進出とともに、海外生産比率や製品輸入比率も高まってきました。このことは港湾の役割変化にも現れており、港湾の性格は以前とは同じではありません。日本の港湾が中国、韓国、台湾など近隣の新興工業国の影響を受けるのは必至です。新たな時代にふさわしい産業構造のもとで、港湾として果たすべき役割を明確にしていく必要があります。加工貿易体制時代の成功体験にとらわれることなく、むしろ時代を先取りし、新時代にふさわしい分業と技術革新を追求しなければなりません。

2013年9月

2. 報告（平成25年度総会及び研究報告会）

平成25年度日本港湾経済学会中部部会 総会及び研究報告会を開催致しましたので、ご報告します。

日時：平成25年8月12日（月） 13時00分～17時25分

場所：名古屋港湾会館 第3会議室

内容：（1）開会の辞、挨拶

日本港湾経済学会中部部会 会長 林 上 氏

日本港湾経済学会 会長 三村 真人 氏

（2）講演会 及び 研究報告会

『講演会』

「中部の港湾における地震・津波対策の取り組み」

国土交通省中部地方整備局港湾空港部港湾空港防災・危機管理課

『研究報告会』

① 秀島 栄三 氏（名古屋工業大学）

「港湾機能継続性向上のための多様な主体間関係の整合化に関する研究」

予定討論者：小出 真二 氏（名古屋港管理組合）

② 前川 壯吉 氏（四日市地域研究機構）

「伊勢湾背後域国際コンテナ貨物の流動に関する一考察」

予定討論者：朝日 幸代 氏（三重大学）

③ 加藤 義人 氏（三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

「名古屋港におけるコンテナ需要の推計に関する検討」

予定討論者：渡邊 悌爾 氏（三重大学）

（3）総会

議事1 平成24年度事業報告、決算及び監査報告について

議事2 役員の改選について

議事3 平成25年度事業計画及び予算について

参加者：72名

【開会の辞、挨拶】

総会及び研究報告会の開催に先立ち、林会長よりご挨拶を申し上げるとともに、日本港湾経済学会本部より、三村会長にご臨席賜り、ご挨拶のお言葉をいただきました。



開会の辞【林会長】



挨拶【三村会長】

【研究報告会】

研究報告会では、森川浩一郎氏（近畿大学）による司会進行のもと、秀島栄三氏、前川壯吉氏、加藤義人氏の3名の方よりご報告をいただきました。

また、予定討論者の小出真二氏、朝日幸代氏、渡邊悌爾氏との活発な意見交換がそれぞれ行われました。



研究報告会の様子



秀島 栄三 氏



前川 壯吉 氏



加藤 義人 氏

【総会】

総会では、以下の議事について審議をし、すべて議案どおり承認いたしました。

議事1：平成24年度事業報告、決算及び監査報告について

議事2：役員改選について

議事3：平成25年度事業計画及び予算について

役員改選では、引き続き、林会長、高橋副会長にご就任いただくとともに、新たな理事として朝日幸代氏（三重大学）、中山恵子氏（中京大学）、また、新たな監事として山田光男氏（中京大学）にご就任いただくことになりました。



総会の様子

〔日本港湾経済学会中部部会の役員〕

(平成 25 年 8 月 12 日現在)

役 職	氏 名	勤 務 先
会 長	林 上	中 部 大 学 人 文 学 部 教 授
副 会 長	高 橋 治 朗	名 港 海 運 (株) 代表取締役会長
理 事	内 藤 能 房	名 古 屋 市 立 大 学 名 誉 教 授
〃	大 島 俊 一	中 部 大 学 経 営 情 報 学 部 教 授
〃	渡 邊 悌 爾	三 重 大 学 名 誉 教 授
〃	安 積 紀 雄	名 古 屋 産 業 大 学 名 誉 教 授
〃	森 川 浩 一 郎	近 畿 大 学 経 済 学 部 教 授
〃	朝 日 幸 代	三 重 大 学 人 文 学 部 教 授
〃	中 山 恵 子	中 京 大 学 経 済 学 部 教 授
理事兼事務局長	錦 見 桂 司	名 古 屋 港 管 理 組 合 企 画 調 整 室 長
監 事	山 田 光 男	中 京 大 学 経 済 学 部 教 授
〃	藤 原 克 己	名 古 屋 港 埠 頭 (株) 専 務 取 締 役

【懇親会】

総会及び研究報告会終了後、名古屋港湾会館にて懇親会を開催いたしました。

林上会長の挨拶に続き、功労会員である眞継隆氏の乾杯の音頭により懇親会が始まりました。

法人会員・個人会員の皆様をはじめ34名の方にご参加いただき、幅広い交流が図られ、盛況のうちに終わることができました。



【林 会長】



【眞継 隆氏】



懇親会の様子

3. 名古屋港の情報

名古屋港の統計年報（平成 24 年）について

平成 24 年の名古屋港統計年報のデータを名古屋港のホームページに掲載（H25. 9. 4）いたしましたので、ご利用ください。

【平成 24 年 名古屋港の港勢】

平成24年（2012年）の名古屋港の港勢は、入港船舶隻数は、前年実績を下回りましたが、入港船舶総トン数、総取扱貨物量はともに前年実績を上回りました。

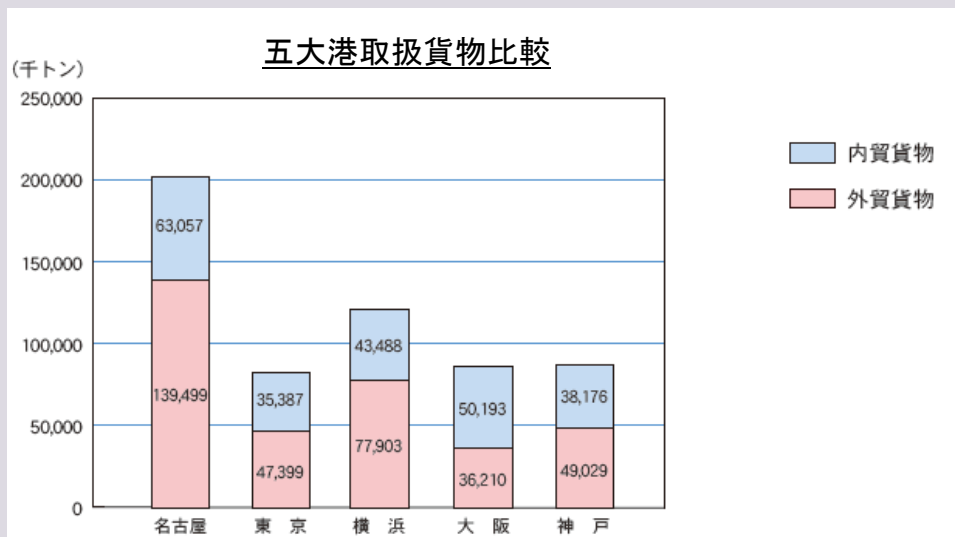
1 入港船舶

入港船舶は、隻数が 33,740 隻（前年比 0.7%減）、総トン数が 2 億 3,468 万トン（同 0.8%増）と隻数は、前年実績を下回りましたが、総トン数は前年実績を上回りました。

2 海上出入貨物

平成24年の総取扱貨物量は、2億256万トン（前年比8.7%増）と4年ぶりに2億トンを突破し、平成14年から11年連続で全国1位になりました。

また、総取扱貨物量のうち外貿貨物取扱量については、1 億 3,950 万トン（同 7.7%増）と平成 12 年から 13 年連続で全国 1 位になりました。



名古屋港のホームページ（名古屋港の港湾統計）より

<http://www.port-of-nagoya.jp/toukei/index.html>

4. 事務局より

個人会員会費の納入のお願い

法人会員の皆様におかれましては、今年度の年会費を納入して頂きありがとうございました。この度は、個人会員の方で、まだ、今年度の会費の納入がお済みでない方に、会費の納入をお願い申し上げます。

つきましては、個人会員会費の納入を、お手数ですが既案内の指定口座まで請求金額をご確認の上、9月末までにお振込み頂きますようお願い申し上げます。

※個人会員会費は年額1,000円となっておりますが、納付状況により請求金額が異なりますので、必ず、請求書をご確認ください。

【振込先】

- ① 三菱東京UFJ銀行名古屋港支店（店番号292）

普通預金 口座番号 0633227

日本港湾経済学会 中部部会

- ② 郵便局

郵便貯金 記号 12160

番号 44997141

日本港湾経済学会 中部部会

ニュースレターの送付について

日本港湾経済学会中部部会ニュースレターに関するご意見、ご要望、ご提案、お問合せがございましたら、事務局までご連絡ください。

お寄せ頂いたご意見等は、今後の参考にさせていただきます。

配信停止を希望される場合は、お手数をお掛け致しますが配信停止の旨を下記までご連絡ください。

日本港湾経済学会中部部会 事務局

名古屋港管理組合 企画調整室 企画担当 担当：神野、長治

TEL：052-654-7968

FAX：052-654-7997

E-mail：atsushi.choji@union.nagoyako.lg.jp

日本港湾経済学会中部部会

URL：<http://www.portecon-chubu.com>

名古屋港管理組合

URL：<http://www.port-of-nagoya.jp>